

金星



啓明学院同窓会

Hands and Hearts are trained to serve.



No.14. 2010年8月1日発行

啓明今井会館の完成と

新たな歩みに感謝して

同窓会会長 6回生 佐藤陽子



金星会員の皆さまにはその後いかがお過ごしでしょうか。日ごろは金星会の運営、活動にご理解とご協力を賜りまして誠に有難うございます。

2010年3月31日、啓明学院キャンパスの一隅、校舎全体が見下ろせる丘に新しく啓明今井会館が完成し、竣工式が行われました。「感謝と信仰の証として、学院の生徒たち、同窓生、保護者のため、また地域の人たちのために学院が一体となって活用できる象徴的な会館とした」と今井理事長は建築の目的を語られました。特に同窓生のために卒業生の活動の場として用いられることを強調されました。啓明今井会館の完成は、同時に多大なご労苦を惜しみなく注ぎ、学院の発展のために尽くされた今井理事長始め、河上理事、中島理事の退任のときとなりました。今井理事長は、1989年から2010年まで理事長として重責を担ってくださり、幅広い人脈と高邁な人柄を通して、今日に至る啓明学院の発展に尽くされました。また尾崎校長先生には、啓明女学院から啓明学院へと移りゆく中であって、その発展のために多大なご尽

力をいただきました。同窓会・金星会は心から先生方のご労苦に対し、感謝申し上げます。2010年4月1日から尾崎八郎新理事長・院長、藤本義和新校長が誕生し、新たな体制のもと啓明学院の歩みが始まりました。

今日いろいろな意味で子供たちの育つ社会環境が困難な時代にあつて、神と人とに仕えるため「自分を愛するよう隣人を愛しなさい」の聖書のみことばを自ら問いつつ、最も多感な時期に一人ひとりの魂の育ちに尽くされている啓明学院において学びができますことは、この上ない幸いなことと思います。

このたび会館の竣工をお祝いして同窓会から1,000万円の寄付をさせていただきますました。今後、卒業生の親睦と活動の、延いては母校の発展のために活用できる場所となればと願っています。このことのために同窓会員の皆様方が、それぞれの立場で何が出来るかを考え、ご意見をお聞かせいただければ幸いです。また機会あるごとに母校を訪れ、育ちゆく母校の教育の現場をご自分の目でご覧になり、母校に対する理解を深めていただければと願っています。

金星会会員の皆様方のますますのご活躍とご健勝をお祈りいたします。

新しい時代にふさわしい人よ、

育て！

啓明学院前理事長 今井鎮雄



長い歴史を誇る啓明女学院の名前を私がかつたのは、戦後日本に復興し、神様に導かれて神戸に

来た1946年のことです。空襲で焼け野原となった街は高架下の闇市ばかりが目立っていました。人々は挫折の中にあつても日本の復興について考えていました。1948年、それまでボランティアとして関わっていた神戸YMCAのスタッフとなったとき、出会ったのがモース・サイトウ先生です。当時、親しくなった神戸の方々からは、啓明女学院の卒業生は英語も堪能、英文タイプも打てる教養を備えた女性、とうかがっていました。やがて日本は急激な経済成長を遂げ、激しく変動する社会の中で、人々は何を発展といい、どこに価値の基準を置くのかと考えるようになりました。

私が関西学院大学で講義をしていたこともあり、サイトウ先生とは学校のお話をするようになりました。啓明がさらに発展するために何を考えるべきかと、先生からご相談を受けたのはそんなときです。学校にはそれぞれの使命があります。国際都市神戸で活躍する人を育てること

を期待される啓明の、新たな使命は何か

2010年度年間テーマ聖句

「人は目に映ることを見るが、

主は心によつて見る。」

サムエル記、上 16章7節

あなたの若き日に 創り主を覚えよ

啓明学院理事長・院長 尾崎 八郎



わが学院は、近代日本の学校体系に位置する学校としては、1923年に創立され、今年87周年を迎えました。皆様熟知の通り、その淵源は1886年に遡り、現神戸栄光教会附属の読書館にあります。私は今春機会があつて、上海人民公園に隣接する淋恩堂（上海中央教会に相当する）の日曜礼拝の一部に参加することが出来ました。神戸栄光教会にそっくりな、もう少し大規模なもので、目測800人程の中国の方々が参列しておられました。日曜日には4回の礼拝が行われているようですが、私が参加させてもらったのはその中の1回だったようです。この教会はJ・W・ランバスとM・I・ランバス夫妻（我が学院の創立者）が神戸に来られる前に、中国伝道に励んでおられた時の拠点教会で、感激入のものがありました。以前に米国でランバス・ファミリーの故地であるパール・リヴァーの教会（啓明今井会館位の大きさのシンプルな木造平屋建）を訪問し、ランバス・ファミリーのご遺族方にお会いした時と同様に、身の引きしまる想いが致しました。

わたしたちに生命を与え、育てて下さる方があることを知っています。また総ての關係して下さった方々のお名前を一つひとつ挙げることは出来ませんが、植えて下さり、水を注ぎ続けて下さった方々を忘れることは出来ません。老ランバス夫妻、若ランバス先生、またパールモア師やJ・C・ハラント先生は植えられた方々でしょうし、特にこの変革を企図された30年間に亘って、水を注ぎ接木をして下さった名譽理事長であり、学院相談役の今井鎮雄グループの方々、モース斎藤名譽院長、河上民雄名譽理事、中島貞夫、宮田満雄の元・前院長、金星会名譽会長の渡邊カナコ理事とそのグループの方々、各時期の育友会代表とそのメンバー、教職員と主役たる生徒達を思いま

今、これだけの準備をしてもらって、わたしたちは藤本義和校長を中心にした教職員と生徒達が、これを享受して成長し、次の人たちに引き継いでゆく時に、改めて初心を忘れず、中心、後心へと発展させてゆきたいと願っています。

神様は何故生命を与えて下さるのか、啓明学院は何故植えられ、水を注がれ、接木されたのかを改めて捉え直したいと思っています。

古典古代のヨーロッパ人は、顔を上げて立つ自由人たるためにリベラル・ア

ツ（自由7学科）を設定し、中国文化に於いては六芸を、日本に於いても学は身を立つるの財本として、教育によって自立することを得るとしてきました。

わたしたちが銘記すべきことの根本は、聖書が示す如く、また人としての生涯を歩まれたイエス・キリストが示されたように、「あなたの若き日に創造主を覚えよ」でありましょう。わが学院は、そのために建てられた学院であります。わたしたちは今、ランバスチャペル（本館内、今秋パイプオルガン新設）とハラントチャペル（啓明今井会館内、小パイプオルガン設置済）を持つのはその故です。この愛なる創造主が、わたしと共に歩めと、わたしたちに固有の生命と名前を、両親を通して下さっています。とても重いけれど嬉しいことです。

足跡という詩は皆さま御存知でしょう。私はあなたと共に歩むよ、あなたが逆境の極にある時にも見捨てることはないという、神様イエス様の約束です。私はこの極致は、ジョルジュ・ルオーのパッション・シリーズの磔刑に最も深く表現されているように思っています。彼は受難を聖なる愛と言っています。二人の強盗を両脇に、中央に十字架上のイエス・キリストが配された木版画がありますが、ルオーの理解は、「同じ夜、お前と共に死のう」でした。

イエス様は決してわたしたちをお見捨てにはならないのです。「人、その友のために己が生命を捨つ、これより大いなる愛は

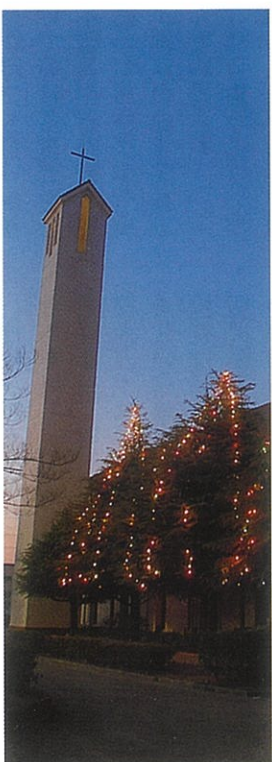
ない」のイエスの実践は、わたしたちの周りの、これらの最も小さい者に愛の行為をするならば、それは私に（イエスに）したのであるということなのです。

人間性と、特に現代のしくみは、総て己の利益、名譽、繁栄を求めています。しかし学院生は、創造主を覚え、その祈りと愛を知り、そして一緒に歩かせて下さい。一緒に歩いて下さいと願う人であつて欲しいと願っています。（私たちが夫婦は校長を退職させて頂く記念に、後輩の美術商が格安で入手してくれたのでルオーの前掲の版画97枚／150枚を、ハラントチャペルに寄贈させてもらいましたが、この学院での9年間の校長職の間に、皆さんによってこのような思いを強めてもらったことを、心から感謝しています。）

学院の目指す教育はここから総て見えてくると思っています。分析も、課題も、改革の方向もです。

「私たちの創り主を覚えて、本を読み、友と交われ、汗をかけ」です。

金星会の皆様、そして生徒たち、学院に連なる一人ひとりが真に幸福な人生を、感謝を持って歩まれるように祈つてやみません。



21世紀にますます大きくなる

啓明学院の役割

啓明学院校長 藤本義和



金星会会員の皆様には、ご健勝で活躍のこととお慶び申し上げます。このたび、私は4月1日付で、尾崎八郎前校長の後をうけて、校長に就任いたしました。大任を奉じて、責務の重大さを痛感しておりますと同時に、身の引き締まる思いでございます。

学校の教育活動を後援してくださる団体には、育友会と同窓会があります。とりわけ同窓会は、母校が存続する限り永

遠に会員が増え続ける、母校と切り離すことのできない密接な関係をもつ団体です。卒業生の皆様の社会における活躍、業績、努力、貢献が、そのまま母校の社会的評価を形成していきます。

本校は、パルモア女子英学院、啓明女学院、啓明学院へと校名を変えてきましたが、建学の精神は今も脈々と息づいています。

先日、パルモア女子英学院卒業の大正12年生まれ、86歳の母を持つ娘さんからこんな手紙を戴きました。

「女学院時代は、良妻賢母をめざす女学校を謳っていましたが、一人の自立した人間として生きていけることが大切に

す。この学校は、どんな時でもしっかりと自分の足で立ち歩いていける教育をします。70年以上前に本当に生きた教育をしてくれた」と母が話しております。校名が変わっても学校が神戸の地で成長し続けていることを喜んでいました」

聖書「ヨハネによる福音書」(10:3)に「羊飼いは自分の羊の名を呼んで連れ出す」という言葉があります。羊飼いの立場にある教師が、子供一人ひとりの可能性を引き出すためには、まず、それぞれ名前を持った人格であるという認識と、その各々を見分ける心遣いと、さらに、その一人ひとりを「名前と呼ぶ」労をいとわぬ愛情がなければならぬと考えています。

いつも知的好奇心にあふれ、人間について、自然について、歴史について、社会について、さまざまな問いかけを持ち続けること。それが「知の探求者」として育つ道です。今なお、リベラルアーツの伝統を、啓明学院は引き継いでいます。

校舎などモノとしての遺産は、老朽と改築を繰り返していくものですが、真の遺産とは、啓明で学ぶ者一人ひとりが、校舎のすべてに滲み込ませてきた「たくましい真摯な生きざま」だと思います。母校は心のふるさとです。ふるさとを大切にすることは自分を大切にすることにつながるとおもいます。

目先の損得にこだわらない、大きな視点をもった生徒を育てることが、長い歴史と伝統を持った本校のさらなる発展に寄与できる道だと信じております。21世紀という激動する時代、啓明学院の果たすべき役割がますます大きくなることは間違いありません。今後とも、多様化していく社会のニーズに因應するため、新たな気持ちで同窓会と心をつなげて一層の充実に取り組んでいきたいと考えています。金星会会員の皆様方のご支援をよろしくお願い申し上げます。

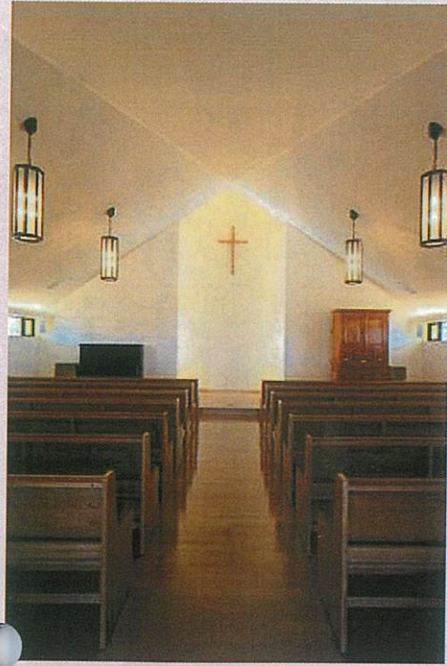
啓明今井会館

3月31日完成

竣工礼拝感謝のうちに開催

啓明今井会館と合宿研修所について

事務室長 小沢俊朗



厳肅な雰囲気漂うハランド・メモリアルチャペル

2010年3月31日、「啓明今井会館」の竣工記念式典が執り行われました。竣工式には同窓生や保護者、教職員、地域の人たちなど啓明に繋がる約160人の支援者が集い、それぞれの祈りのうちに竣工記念礼拝を守りました。永年にわたり理事長に就任された今井鎮雄先生のご退任と顕著なご功績に感謝の気持ちを

もって会館名が命名されました。

歴史ある啓明女学院から啓明学院への共学化並びに関西学院大学継続校への学校改革が進められてきた一つの節目として、その歴史の足跡を刻むため、「啓明今井会館」の2階のチャペルは「J・C・ハランドチャペル」、1階のホールは「モース・サイトウホー



パルモア・啓明学院合同学院葬
2009. 4. 27ご逝去 (82歳)
渡邊カナコ金星会名誉会長追悼の辞

モース・サイトウ名誉院長を偲んで

金星会名誉会長 5回生 渡邊 カナコ

昨年5月17日、啓明学院J・W・ランバスチャペルに於いて、モース・サイトウ名誉院長追悼のパルモア学院・啓明学院合同学院葬が執り行われ、グループ関西学院院长長、先生に縁ある方々、アメリカから御子息 George さんも参列なさいました。私は、金星会を代表して、追悼の辞を述べさせて頂きました。桜の花の後を追うように天に召された先生は、深い信仰の下に確固たる信念と強い意志をお持ちで、いつもニコニコと穏やかで、とてもお話し好き、どなたにも Friendly な方でした。



ハランド・メモリアルチャペルは大勢の同窓生や保護者、支援者などで埋まった。



春の日差しの中に輝く、完成したばかりの啓明今井会館。同窓生や保護者、地域の人が、啓明に繋がるすべての人に開放され、末永く愛されるに違いない。

ル」さらに本学院チャペルは「J・W・ランバスチャペル」、第1図書館は「パルモアライブラリー」、小ホールは「メアリーホール」と命名されました。

啓明女学院の頃、先生が理事、理事長、院長の要職にご在任中、啓明の発展に多大の貢献をして下さいました。その間、私は金星会会長、母校の監事、理事として約40年間御一緒させて頂きました。特筆すべきは、第5代院長として1983年に、当時の宮崎理事長、理事会と共に大英断を下し、三宮と中山手の南北2か所に分かれた旧校舎から、現在の清澄な空気と緑豊かな須磨横尾の地に、校舎新築移転の大偉業を成し遂げられたことをご紹介します。

当時YMCA総主事でご活躍中の今井鎮雄前理事長を Adviser にお迎えし、河上民雄前理事(当時、衆議院議員)のご協力を得て、北校舎と同じヴォーリズ設計による広大で美しい品格ある学び舎造りに尽力されました。校舎移転という啓明の積年の夢が遂に叶ったのです。啓明女学院創立60周年の年でした。新しい学

また、パイプオルガンは「啓明今井会館」の竣工に併せ、本学院チャペルから移設をいたしました。そして長年の待望であった本校チャペルには20ストップの荘厳で立派なパイプオルガンの組み立て工事がいよいよ今夏休みから開始され、本年の創立記念日(10月18日)には完成される予定です。

さらに、本学院の特色ある教育を実践するために、校外での環境整備の一つとして、長年にわたり取り組んできました「啓明合宿研修所」の建設も、ようやく近隣の多井畑の地で今春から工事開始の段階まで進み、来春3月には竣工の予定となりました。

「啓明今井会館」「啓明合宿研修所」が、今後の啓明学院の教学を進める上で、生徒、育友会、同窓会、教職員をはじめとして本学院を支えてくださる方々の絆の場として活用されることを願っております。

び舎で歩み出した啓明女学院は、生徒が激増し、マンモス時代に突入しました。

1994年、先生が退職なさった後の、歴代の院長、校長先生が、この素晴らしい学び舎で、啓明の伝統と建学の精神を守り、時代の趨勢に沿って、今井前理事長の下、教職員の先生方と総力を挙げて、理想の教育の具現化に取り組んで来て下さいました。noblesse oblige、折り目正しく伸びやかで逞しい、あらゆる才能の可能性を育成する男女共学の啓明学院は、世の評価が著しく高まり、止まることなく躍進の一路を歩んでおります。

私達は、先生の偉大なご功績が今日の啓明学院へと導かれる大きな礎の一つになった事を讃え、心からの深い感謝を捧げます。

先生は、私達と啓明の中に永遠に生きていらっしやいます。

ランバス・ファミリール校の1校である啓明学院中学校高等学校は、瀬戸内市の協力のもと牛窓町に四季を通じて利用できる前島キャンプを開設することができました。学院中高生の前島キャンプは島の方々の心からの支援を受けて5年前から発展を続けてきました。

啓明学院は生徒達がキャンプ体験を通して、先輩や後輩とともに厚い友情を育て、労を惜しまず汗を流し祈りを覚えて平和を達成する人に成長してくれるよう願っています。

昨年には、生徒用宿泊棟やお風呂、トイレが新しくなりました。現在も迎賓館（保護者用）と呼ばれている宿泊棟の建て替えが行われており、7月20日完成予定です。新しい宿泊棟は、木の香りや温もりが感じられ衛生的にもなりました。

お風呂（和誼ノ湯）は、小豆島を一望できる最高のロケーションにあります。

トイレは、ドーム型で夏は涼しく冬は暖かい発泡スチロールで出来た、外気を遮断できる快適なトイレです。

更に昨年8月には備前焼窯（啓明窯）が完成し、オリジナルの作品を焼きあげました。又、陶芸家の先生が啓明学院のシンボルの金星と関西学院のシンボルの三日月を型抜いた香炉を作陶され、学院祭に出品される予定です。

牛窓や前島の海の自然体験

キャンプ



2009年度 高校卒業生の進路状況

(卒業生…231名)

- 共学部（卒業生…178名）
 (1) 関西学院大学へ継続校推薦入試で進学した者…162名

* 各学部への進学者数は左表の通り

神学部	0名	法学部	15名	総合政策部	13名
文学部	10名	経済学部	23名	理工学部	20名
社会学部	26名	商学部	26名	人間福祉学部	11名
教育学部	8名	国際学部	10名		

- (2) 継続校推薦を辞退し大学・短大等へ進学する者…13名

* 主な進学者

- ◇ 大阪大学 ◇ 大阪府立大学 ◇ 神戸大学 ◇ 国際基督教大学 ◇ 東京理科大学 ◇ 関西学院大学 ◇ 立命館大学 ◇ 大阪薬科大学 ◇ 大阪音楽大学

- 女子部（卒業生…53名）
 (1) 進路先の内訳

大学	47名
短大	2名
専門学校	3名
就職	0名
その他・未定	1名

- (2) 2名以上が進学した大学・短期大学

関西学院大学	27名
神戸女学院大学	6名
神戸芸術工科大学	2名
神戸学院大学	2名
神戸親和女子大学	3名
神戸女子大学	2名

- (3) その他の進学した主な大学・短期大学
 ◇ 京都外国語大学 ◇ 同志社女子大学
 ◇ 甲南女子大学 ◇ 聖和大学短期大学部
 ◇ 武庫川女子大学 ◇ 頌栄短期大学

母校年間行事2010

4月1日	中学入学式
4月2日	高校入学式
4月4日～6日	中1前島オリエンテーションキャンプ
4月6日～8日	高1前島オリエンテーションキャンプ
4月10日	中学・高校始業式
5月15日	体育祭
7月20日	終業式
7月22日～28日	海洋冒険キャンプ
8月15日～27日	青島キャンプ
9月4日	始業式
9月28日～10月2日	中3修学旅行
9月29日～10月4日	高2修学旅行
10月9日	中学説明会第1回
10月15日	創立記念礼拝
10月16日	中学説明会第2回
10月18日	創立記念日
11月6日	文化祭・ホームカミングデー
11月13日	中学説明会第3回
11月15日～20日	宗教週間
11月20日	高校説明会
12月20日	クリスマス礼拝
12月21日	終業式
1月8日	始業式
2月9日	啓明マラソン
2月19日	高校卒業式
3月14日	中学卒業式
3月19日	終業式

退職された先生方

2008年度退職

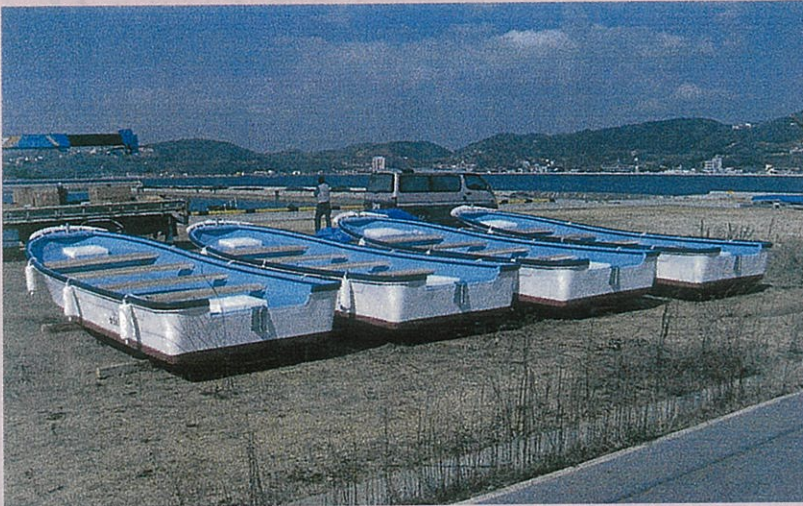
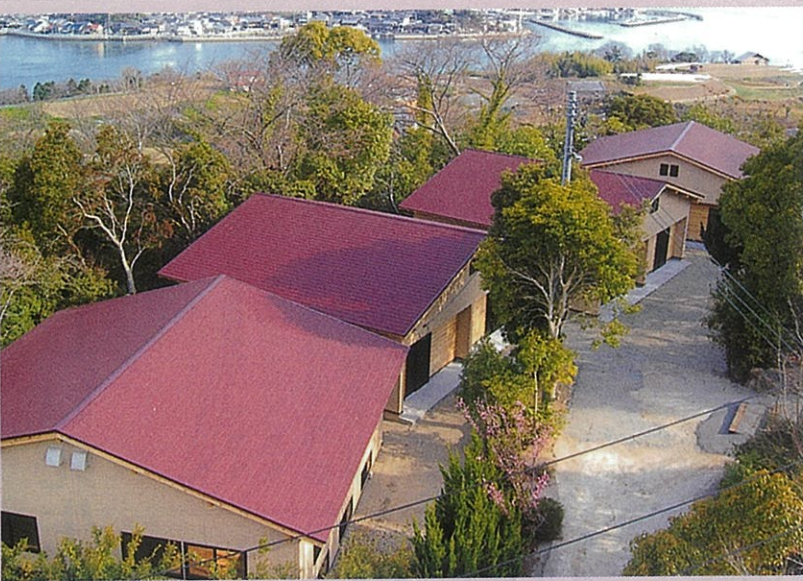
- 理科 田中 護先生
 英語 財田久仁美先生
 ブラウン・ジェイムズ先生
 保健体育 川副 康子先生
 2009年度退職
 国語 上野 馨先生、東口 昌央先生
 中田なおみ先生
 英語 玉置 久一先生
 トムズ・ジェイソン先生

前島

を楽しむため、カヤック22艇とカッターボート4隻も購入されました。

前島キャンプ施設管理者の生島嘉弘さんは「沢山の卒業生に訪れてもらい、前島の良さを肌で感じて欲しい」と話されています。そしてゆったりと流れていく時間を楽しんでもらい、啓明の心の故郷になって欲しいと切望されています。

なお、詳細は事務室の小西事務次長までお問い合わせ下さい。



2009年度クラブ活動

文化部

〔吹奏楽部〕

- ・兵庫県吹奏楽コンクール神戸地区大会 高等学校大編成の部 銀賞
- ・中学校大編成の部 銀賞
- ・兵庫県アンサンブルコンテスト神戸地区大会 中学校の部

- フルート四重奏 金賞
- クラリネット七重奏 金賞

〔放送部〕

- ・第56回NHK杯全国高校放送コンテスト 兵庫県大会 決勝

- ラジオドキュメント部門……奨励賞
- アナウンス部門……奨励賞 宮地 環 (高3)

- ・第26回NHK杯全国中学校放送コンテスト 兵庫県大会
- ラジオ番組部門……入選
- 朗読部門……入選

〔ESS部〕

- ・第21回阪神ESSユニオンシナリオリーディングコンテスト 優勝

運動部

〔ソフトテニス部〕

- ・全国高等学校総合体育大会 個人 渡辺 愛・大下真須美
- ・近畿高等学校選手権大会 団体 9位

〔サッカー部〕

- ・兵庫県高等学校総合体育大会 女子の部 第3位

〔アメリカンフットボール部〕

- ・兵庫県高校春季大会 第3位
- ・兵庫県高校秋季大会 準優勝
- ・第40回全国高校アメリカンフットボール選手権大会出場
- ・第7回関西中学アメリカンフットボール選手権大会 優勝

〔ヨット部〕

- ・第21回近畿高等学校ヨット選手権 女子団体 優勝
- 女子個人 第1位・第2位・第5位

土曜講座「ヒップホップ」

57回生 松本 絢裕

私は、2004年に啓明女学院を卒業しました。

その後「よさこいダンスを教えてくださいませんか？」と中野先生、石川先生が言って下さり、この一言で、一からダンスを学び直しました。幼少より、ダンスは習っていました。高校卒業を機に、辞めようかなと思っていたところでした。

しかし現在は、自分のダンス教室を持つつつ、啓中よさこいの振り付け指導・ダンス部コーチ・土曜講座講師と、啓明で楽しく踊らせて頂いています。よさこいでは『ダンスなんかしたくない』そんな生徒もたくさんいます。

しかし、一年後、よさこいのフリを『こんなんやった！』と話しながら踊ってくれの子を見たときに、私は本当にこの仕事にやりがいを感じ、成長していく生徒たちを見られる啓明学院は改めていい学校だと思います。

この場を借り、現在もお世話になっている先生方、本当にありがとうございます。これからも、生徒が輝く振り付けを考えていきます。私たちの後輩たちは頑張っています。体育祭や文化祭を是非観に来て下さい。

新制服

2011年4月より制服が新しくなります。これまでのものよりさらにハイセンスでフォーマルな装いとなります。

一歩先を行く国際性を備え知的な雰囲気をかもしだし、清潔感にあふれています。



高校生

中学生

おなつかしい先生方のお便り

退職された先生

万葉歌碑

元校長 黒川行信

「金星」第14号の発行を、心よりお祝い申し上げます。

啓明を退職して十二年、お蔭様で元気に、兵庫県の老人大学や各市の公民館等で万葉集の講義をしたり、青少年赤十字のお手伝いをしたりしております。

今年春、長田区真野に、地元の方々を始め多くの方々のご尽力により、私の拙い筆になる万葉の歌碑が建立されました。

これに際しましては、啓明学院、先生方、金星会の皆様から多大のご支援を賜り、誠に有難うございました。深い感謝の念を込めて裏面に啓明学院の名を刻ま



せていただきました。改めてあつく御礼申し上げます。

碑は「いざ子ども大和へ早く白菅の真野の榎原手折りて行かむ」という高市連黒人の歌で、「さあ皆さん方よ、故郷の大和へ早く、白菅の生えているこの真野の榎の林の一枝を土産に帰りましょう。」という意味です。

万葉集には、神戸を詠った歌が三十首あり、その中、真野を詠んだ歌が七首もあります。けれども、真野の地にはこれを表す記念物がありませんでした。そこで、この地を詠った歌碑が建てられた次第です。

郷土を愛する心は、郷土の歴史を知り、これを誇りに思う心から育まれます。子ども達が、この歌碑を通じて、郷土愛を深めてくださるようお願いいたします。終りになりましたが、金星会の益々のご発展をお祈り申し上げます。

数学科 八杉貞子

卒業生の皆様、お元気でいらつしやいませうか。この同窓会報の紙面をお借りして、おたずねさせて頂けることを、うれしくありがたく思っております。

ところで、啓明学院もその新しい呼び名が示すように、あまたの変遷を経て、今日に至っているようですね。

その間、多くの関係者の方々のご苦勞と、お力によって、事がなされたのでしようね。

その昔、中山手の坂道に建っていた三

角屋根の旧校舎は、今残っていれば、昔の異人館の一つとなっていたことでしょうか。

ランバス先生・ハランド先生がお蔭きになった種子は、こんにち、大変立派に育っています。そういう中にはぐくまれた私は、諸先生方の御力をありがたく思っています。

特に近年の学院の変化を担っていらつしやる方々、応援の卒業生の皆様、どうぞお元気でどうぞ下さいませ。感謝の念を込めて。

英語科 林 貞子

卒業生の皆さん、お元気でいらつしやいますか。皆さんそれぞれの場所でご活躍の事と存じます。早いもので、私が啓明を退職したのがあの震災の翌年で、

大震災の時は貴重な経験をさせて頂き、又お助け頂き、感謝致しております。あの淡路大震災で、奉仕の大切さ、被災された人々の痛みを学ばせて頂きました。先日、南米チリで大地震があり、まだ被災された人々が難渋されておられるの毒に思われます。世界の到る所でこの様な惨事が起り、どうなるのかと心配です。

お蔭様で私も80歳を超え元気にさせて頂いております。惚け防止の為、月に4回から5回位、辯天宗で奉仕させて頂いたり、好きな書道をしたり、漢字検定を楽しんで居ります。又、歩行運動で毎日阪急の上からJR住吉迄必要、不必要に拘らず買物に出、往復出来るだけ歩く様に努力しております。私も老いの身に鞭打って家に籠らず、若い人に負けない様に皆さんに助けて頂き乍ら、あらゆる事に

に挑戦して居ります。皆様のご健康とご多幸を御祈りしております。

英語科 佐野美智子

金星会の皆様、お元気でお過ごしですか。啓明を卒業してもう13年が経ちました。時折クラスの同窓会や学年の会にお招きいただき、懐かしい方々とお会いできるのも嬉しい限りです。また思いがけない所でお声をかけていただくこともあり、社会の色々な場で活躍されている様子に心強く喜ばしく思っております。

退職後も、幸い元気にウォーキングや山歩きをして山野草と親しみ、冬には志賀高原や蔵王をホームグレンデに、時に北海道のパウダースノーを楽しんでいます。

高校、大学、啓明のそれぞれの時代によき友との出会いがあり、今も交流を続けお互いに刺激を受けています。まだ好奇心一杯で様々なことに興味を持ち、それなりに充実した日々を感謝しつつ過しています。

長い人生には苦しい時もありますが、どんな時もポジティブに、お身体に気をつけて前へと歩まれますように祈っております。

英語科 高瀬佳子

Life is short and time is swift. 英語の格言です。まさに今、この言葉が身に染みんでいます。過去を振り返り、私は自問自答する毎日です。昭和25年に啓明中学校に入学以来、現在に至るまで（主人の転勤で4年ほど中断）細々ながらずっと啓明と関わり、貴重な経験をさせて頂き

ました。中山手と三宮の校舎で、また須磨の新校舎で英語を担当させて頂いた卒業生の皆さん、いかがお過ごしですか。セピア色の写真も混ざった沢山のアルバムを見ては皆様に思いを馳せています。皆様はそれぞれの場で啓明色を発揮されている事でしょう。時の流れと共に現在の啓明はハード・ソフト両面で著しく充実致しました。後輩達はこの素晴らしい環境の中で皆様に続こうと頑張っておられます。さて、私は残り少なくなつた人生のカレンダーを睨みつつ、神戸アジア交流プラザ、神戸クロスカルチュラセンター等でボランティアをしながら毎日大切に過ごしたいと思っています。

国語科 上野 馨

この春、啓明学院を退職いたしました。21年間お世話になりました。教職員の皆様、卒業生・在校生、またその保護者の皆様、まことにありがとうございます。啓明での毎日の生活の中で、キリスト教との関わりは私にとって琴線に触れるものでした。私は信者ではありませんが、そもそも横浜での中高6年間もキリスト教主義学校でしたし、神戸で教職に就いた前任校もキリスト教主義の学校でした。躍動的で、あらゆる可能性を秘めている若い日にこそ、畏れる、畏敬する心を知ることが、たいへん大事なことだと思っています。啓明を通して人は、真摯で謙虚さを備えた果敢なチャレンジヤーであってほしいと思っています。

私の好きな聖句を記します。

青春の日々にこそ、お前の創造主に心を留めよ。苦しみの日々が来ないうちに。「年を重ねることに喜びはない」と言う

年齢にならないうちに。(コヘレトの言葉「第12章」)

現職の先生

副校長 中野 孝

金星会の皆様、お元気で過ごして下さい。啓明学院にお世話になって今年で39年目に入りました。月日の経つのは本当に早いもので、退職まであと数年ですが、毎日元気良く生徒達と一緒に頑張っています。これだけ長く勤める事が出来たのは、卒業生の皆様方との関わりの中で支えられ、健康で日々過ごせたからだと思っています。

嬉しいことに、教え子達の子供もたくさん入学してくださる様になり、親子2代で本学院卒業生として送り出せることは、本当に喜ばしいことです。啓明で学び、一人一人の生徒達が本学院に来て良かったと言ってもらえるように、これからも一生懸命に頑張っていきたいと思えます。来年度より制服も新調され、素直で明るいすがすがしい啓明生として育ってほしい。

本学院も女学院から啓明学院(共学)になり、9年が過ぎ去ろうとしています。2011年度より第1期生が教育実習で本校に帰って来ます。成長した姿が楽しみです。金星会の皆様、伝統ある母校の良きサポーターとなり、ますますの発展のためにご協力下さい。母校啓明は、皆様の御健康と御活躍をお祈りしています。

生活研究科 湯浅 美樹

お久しぶりです。みな様、お元気で

過ごしていらっしゃいますか。私も啓明にお世話になり、30年以上の月日がたとうとしていきます。女性教員の中では、最も年上となり、今だに成長しきれていない自分に恥ずかしさを感じる今日この頃です。

今年、共学クラスの担任です。女子ばかりのクラスとは、一味違います。啓明の生徒達は仲良しです。中庭の芝生で楽しそうに昼食を食べている姿は、羨ましくもあります。啓明学院の歩みをはじめ、9年になりますが、生徒達は女学院時代の「良きところ」をしっかり受け継ぎ、さらに進化を続けております。

一度学校にお遊びにいらして下さい。そして「啓明今井会館」2階のチャペルロビーから、元気な生徒達の姿をぜひご覧下さい。頼もしい姿に、きっとみな様御自身の高校時代を思い出され、懐かしさで一ぱいになることと存じます。お体大切にお過ごし下さい。

生活研究科 福中 朋子

卒業生の皆さん、お元気で

人生の半分以上を啓明とともに歩むことが出来たことに、あらためて感謝したいと思えます。「教えることは学ぶことなり」のことばのように、本当にたくさんのごことを学ばせて頂きました。今、食堂の中庭の藤が白と紫の花を咲かせています。たった14名の最後の女学院中学生を担任させて頂いてから10年、今ではその10倍以上の男女共学生が入学しています。そして、今年、高校最後の女子クラスを送り出す年になりました。古き良き女子校時代も時代の流れの中で遠い記憶になりながらも、大きく変化を遂げた今

の啓明は、さらに魅力のある学校になりつつあります。

我が子を啓明に託される卒業生も多く、親子2代でお教えることもあります。

藤棚の花のようにしっかりとつぎ木され、新しく花を咲かせた啓明を一度ごらん下さい。

いつかお会い出来る日を楽しみにお待ちしております。皆さんお元気で過ごして下さい。

保健体育科 古永正人

金星会員の皆様、はじめまして。昨年度より伝統ある啓明にてお世話になっている保健体育担当の古永正人と申します。どうぞ宜しくお願い致します。現在に至るまでに、故郷・大阪で7年間、非常勤講師として教育者の勉強をさせて頂いた後、法務事務官看守として矯正施設に奉職しましたが、縁あって再びこの神戸の地で教鞭を執らせてもらえることに深く感謝しております。

教師としては、まだまだ力量不足な私ですが、今までの経験と30年近く続けている剣道で培ってきた礼節の尊さを武器に、生徒達が心身共に健やかな人間へと成長してくれるように、また、皆様の母校の発展のために全力を注いでいきたいと思えます。

皆様のご健康とご活躍を心よりお祈りいたします。



二十才の会

『二十才の会のつどい』について

2年前より、啓明学院卒業生が二十才を迎えた時、市の成人式後、啓明の新成人達が集う祝賀会が開催されています。今年も金星会を代表して渡邊名誉会長と佐藤会長が出席し、二十才の後輩達にエールを贈りました。新成人130名、先生方29名が参加し、賑やかに楽しい会が催されました。

成人式を迎えて

啓明学院3回生 藤守由貴

2010年1月11日、啓明学院第3回生の成人式、そして同窓会が行われました。男女共学校としては初の二十才の会です。18歳で啓明を卒業し、様々な道へと進んだ私たちが久しぶりに一つの場所へ集まりました。

私は、継続校としてそのまま関西学院大学へと進学したので、一緒に進学したメンバーには「懐かしい」という感情は浮かばないだろうと想像していました。しかし、いざ高校時代の顔が勢ぞろいし、お世話になった先生方も含めて、青島キャンプ・文化祭や卒業式などの思い出話や、ビデオレターやスライドショーが流れれば自然と昔に戻ったような不思議な温かい感情に包まれました。

とはいうものの、卒業から約2年。まだまだあどけなさを残る高校時代とは全く違い、綺麗な振袖やドレス、スーツ姿に身を包んだ友人たちはすっかり大人の雰囲気、圧倒させられるばかりでした。大切な中高時代を過ごした啓明の馴染みあるメンバーで、少しだけ昔に帰るこ

との出来た同窓会は、私にとつてとても大切に感慨深いものとなりました。またいつか、素敵な大人になった同級生、そして恩師にお会いできることを楽しみに、今後も歩いていきたいと感じています。ご参加頂いた先生方、ありがとうございます。



「啓明学院3回生二十才の会」新成人祝賀会

クラス会だより

「日々感謝しつつ」

6回生 後田富久子
月堂本店で開催されました。私達が誇りとするクラスメイトの同窓会長、佐藤陽子さんから母校の近況報告を受け、この激動の時代にお力強く発展し続ける現状を知り、喜び合いました。

はや後期高齢者の仲間入りする私達は、遠い過去、純粹で多感な時にキリスト教精神に基づいた人間教育を授かり、そこで得た人生の宝物となった多くの友と旧

交を温め合って、懐かしい想い出話に花を咲かせました。年齢を重ねた今も私達卒業生は、目に見えない絶対的なものに支えられ、生かされていることに日々感謝しつつ年相応にいつまでもきらきらと輝き続けられることを願いながら散会いたしました。



6回生クラス会 2010.5.28
神戸風月堂レストランにて

啓明女学院9回生クラス会

9回生 平井 正子

新緑の美しい5月に、2年ぶりのクラス会を関西学院大学の学院会館で19名の参加を得て、なごやかで楽しいひとときを過ごす事が出来ました。久しぶりに讚美歌を歌い、開会の祈りの後、乾杯して、和会席をいただきました。遠くは島根県隠岐の島より参加して下さい、旧交を温め、2年後の幹事もすぐ決まり、又の再会を約束して閉会となりました。

記

日時 2010年5月14日

午前11時半～2時半

場所 関西学院大学会館1階 輝の間



9回生クラス会 2010.5.14
関西学院大学会館にて

啓明女学院18回生クラス会

18回生 庄谷恵美子

2009年10月3日(土) レストラントアロード(トアロードホテル内) 広島、横浜、愛知、大阪、兵庫から、昔の乙女26名が集まりました。

出会ったとたん、手をとりあい、高校生です。先生方(林貞子、山本真規子、佐野美智子先生)は、いつまでもお若く、少し足をケガされたりとかはある様ですが、私たちとあまり変わりなく、嬉しい限りでした。同期生の自己紹介では、半分ぐらいの人が体の不調があるようでしたが、現実肯定で前向きでした。

「勉強は今まであまり役立つ事がなかったけれど、タイプを習ったのでパソコンが人より早く打てるのでパートに採用され、初めて勉強が役に立った。ありがとうございます。」のコメントには、皆大笑いでした。厳しかった山本先生もニコニコ。皆、手と口は動いたまま、食べないといけないし、おしゃべりしな

いといけないし、お話はずむ、はずむ。後半はビンゴゲームで盛り上がり、一番は一番高価なもの、後、順々に参加費まで、時計とか台所用品、肩や手足のしみもみ器具とか。先生方には在学中、色々ご迷惑をおかけしたこと、お世話になったこと、ひっくり返してお礼の意味をこめて「百萬円」一筆箋を百萬円を強調してお渡ししました。次回の幹事を決め、2年後の再会を約束し、写真を撮って、二次会へ。二次会でもおしゃべりに花が咲き、4時近くまで。あゝ楽しかった!!



18回生クラス会 2009. 10. 3
レストランアロードにて

● 啓明女学院19回生クラス会 ●

19回生 藤井敬子 (旧姓 長井)
初夏の風がさわやかな5月30日北海道、東京、岐阜よりかけつけた人を含め、14名参加、私達19回生は三の宮グリーンヒル神戸にて楽しいひとときを過ごしました。

竹内先生が御参加してくださって、美味しいお料理、懐かしい話、ビンゴゲーム、カラオケ、1000円じゃんけんゲー

ム等皆、少女時代に戻り、あつと云う間の3時間でした。又、来年も元気でと再会を誓いました。(ちなみに1000円ゲームは、竹内先生が優勝し、大金?を手に入れましたが、通信費にと寄付して下さいました。♡)

Forever Keimei! See you again.



19回生クラス会 2010. 5. 30
三の宮グリーンヒルホテルにて

同窓生だより

歳月

13回生 澤田佐紀子 (旧姓 江藤)
「啓明」なつかしい響きです。また会う日まで...の讚美歌に送られて卒業以来、半世紀近くになりました。

母校も共学になり、発展に喜びを感じる今日此の頃です。思春期を過ごした生徒の時代、英語科講師の時代、人生の半分を啓明で過ごしました。かつての生徒の皆さんを相手に授業をした日々、同窓会で活動したことなど、あの日あときが目に浮かび、思いが溢れます。

恩師、友、教え子の皆さんとの出会いの中で、大切なものは目に見えない「心」であることを学びました。

北校舎、南校舎を走りまわり、その後新校舎に移り感動したこと、授業中、皆さんにエネルギーをもらったこと、心に深く刻まれています。

新しい啓明になっても母校ですね。誇りですね。同窓生の一人として、啓明での絆を大切に歩み続けて行きたいと思っています。

私事ですが、娘、愛が4月に結婚しました。

なつかしい啓明をふり返る喜びに感謝しつつ.....

27回生 中村真由美

昨年平成21年3月に、私の母校である啓明学院を35年ぶりに訪れた折、ゆきとどいた施設、クラス内容、心とむちゃべルに感動しました。時の流れの速さを感じ、旧校舎で学んだ日々を懐かしく思い出します。

私はこの4年半、カナダの公立高校でアシスタントの先生として、ボランティアで数学を教えています。カナダのSheppard Universityでその資格をとり、何かお役にたっているようで、嬉しく思います。学生時代、大の苦手だったのに、日本人は数字に強いからといわれ、カナダ人の固定観念ですが、ことわりきれず、この古びた私の脳を活性化させているしだいです。同じ季節に友人を通じて、日本にある西宮の小学校にゲストスピーカーとして招かれ、非公式で国際教育親善のまねごとを体験させていただきました。啓明学院を見学した折も、尾崎校長

先生ならびに先生方の生徒を思う気持ちと、その教育者としての姿勢に、私なりに学ばせていただきました。

これからの新しい時代において、啓明学院がその次の社会に必要とされる、真の国際人を育てられる教育現場の一環であることを信じ、期待しています。また、金星会の方々と機会があれば親睦会でお会いできたらと願っています。

啓明学院の益々の繁栄を影ながらお祈りしています。

啓明学院3回生 饒 佳恵

私が啓明を卒業し、台湾に来てから2年が経ちました。大学の環境や台湾での生活にも慣れ、楽しく充実した日々を送っています。

私にとって台湾での大学生活は大きな挑戦であり、啓明で学んだ精神を生かす場所となった以上、精一杯学校生活に励もうと思いました。けれど、台湾に来た頃は、環境や生活にも慣れなくて不安な気持ちでいっぱいでした。言葉や文化の違いで戸惑うことが多く、新しい一歩を踏み出す勇気がなかったのです。しかし、友達をつくるのにそのような違いなど大きな壁ではなく、みんな分け隔てなく親切に接してくれて、とても励まされました。今では、様々な国から来た友達ができ、それぞれの文化や習慣を知り、理解することができました。

このような環境の中、ここでしか学べないことや、ここだからこそ挑戦できることを積極的に参加し、啓明で学んだ精神を忘れずに自分をもっと磨いていきたいと思っています。



Homecoming Day の ご案内

お問い合わせの上、どうぞご参加下さい！お待ちしております！！

日時：2010年11月6日(土) 9:30～14:30 啓明学院文化祭の日

場所：啓明学院

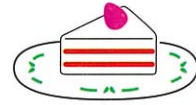
市営地下鉄「妙法寺」(三宮駅より約15分)下車、駅前より

市バス⑦⑧にて「啓明学院」下車、またはタクシーにてワンメーター

行事：①卒業生専用喫茶室(同窓会喫茶室左隣の教室)で、紅茶とケーキを無料サービス

②後輩の文化祭を楽しみ、懐かしい諸先生との再会も!!

★生徒クラブ活動・演技(体育館)・展示・各種模擬店・PTA・バザー等(各教室、校庭)



お知らせ

★毎年、秋の「啓明学院文化祭」の日を同窓生の Homecoming Day と定めております。同窓生多数のご来校をお待ちしています。

★毎年ご案内は差し上げませんが、文化祭の日程が決まり次第、啓明学院のホームページ中『同窓会』(<http://www.keimei.ed.jp>)に掲載致します。

または啓明学院事務所 (tel.078-741-1506) にお問い合わせ下さい。

報告：1982年来、同窓会喫茶室を母校の文化祭で設けておりますが、2003年から Homecoming Day を開催するにあたり、紅茶とケーキを無料でご用意し、皆様をお待ちしております。

なお喫茶室の収益金は生徒会に寄付しております。

★クラス会を開催された方は、その折の写真とコメントを金星会までお届け下さい。Homecoming Day の同窓生の教室で掲示したり、同窓会報のクラス会だよりに掲載いたします。



2010年度 金星会役員紹介

名誉会長	渡邊カナコ(旧姓 渡邊)	5 回生
相談役	高瀬 佳子(旧姓 橋本)	7 回生
会長	佐藤 陽子(旧姓 本谷)	6 回生
副会長	梅岡寿美子(旧姓 和田)	19回生
書記	中岸 圭子(旧姓 正垣)	32回生
会計	才田 章子(旧姓 箱根)	17回生
会計	布澤 成子(旧姓 安田)	29回生
会計監査	河井 祥子(旧姓 新井)	9 回生
会計監査	奥村 叡子(旧姓 稲葉)	21回生
同窓会係	沖花 玲子(教職員)	26回生
同窓会係	田中 優子(教職員)	28回生

2010年度啓明学院教育振興基金事業協力をお願い

啓明学院は1886年(明治19年)に神戸の地で出発したランバスマファミリー校の中でもキリスト教主義教育を行う女子校として発展してきました。南メソジスト神戸中央教会、読書館、バルモア女子英学院、啓明女学院の歴史を経て、2002年(平成14年)からはファミリー校である関西学院大学と継続教育を行う教育協定を結び、男子生徒にも門戸を広げ、現在の校名としました。それ以後、キリスト教主義に基づく内的モラルの高い人間、キャンプ等生活体験豊かな思いやりのある人間、英語力を身につけたコミュニケーション能力の高い人間、自然科学的思考ができる人間、芸術性豊かな健康な人間の育成をめざして歩んでいます。

2009年度から取り組んできた3ヶ年事業計画(総事業予算：8億9千万円)を予定通り、2011年度で完成したいと願っております。

- I 建設設備関係
 - A 啓明学院前島キャンプ用地の瀬戸内市からの譲渡購入(残金) 第2期工事 2010年4月着工
 - B パイプオルガンの学院チャペル設置 2010年10月18日創立記念日未竣工予定
 - C 啓明学院合宿研修所の建設 2011年3月末竣工予定
 - D 和道部部室家屋(茶道部、華道部を主とし書道部、箏曲部を含む)
- II 教育充実・生徒支援関係
 - A 研修補助
 - B 奨学制度の充実

入学したときよりは立派な人間に成長しようという生徒たちの思い、入学した時より良い学校にして卒業しようという生徒たち、保護者の方々の思い、また、母校がさらに立派な発展をするようにという同窓会、校友(関係者)の思いが結集されて、ゆっくりとですが、逞しく前進している啓明学院の姿がここにあります。

経済状況は実に厳しくなっておりますが、何卒宜しくお願い申し上げます。

在 主 平 安 2010年4月
学 校 法 人 啓 明 学 院

理事長・院長 尾崎 八郎
校長 藤本 義和
同窓会 会長 佐藤 陽子

◎ご寄付に対する所得控除について

寄付金に対しては所得控除(所得税減免措置)が受けられますので、確定申告の時に必要な「寄付金領収書」を発行させていただきます。

◎振込先

- (金額に関係なく御寄付いただけます。)
- 郵便局備え付けの振込用紙をお使い下さい。
- 口座番号 00990-9-0004869 加入者名 学校法人啓明学院
- 金 額 手数料を引いた額
- 通 信 欄 「2010年度啓明学院教育振興基金」 「第〇回生または〇年3月卒」 「氏名(旧姓名)」 「〒」「住所」「電話番号」
- (※通信欄は上記項目を必ずご明記下さい)

◎銀行振込をご希望の方は、啓明学院事務所に TEL 下さい。振込用紙をお送りします。TEL: 078-741-1506

◎学院事務局にて御寄付を直接受け付けます。

個人情報の取り扱いと保護について

- ・ご提供いただいた情報は機密扱いとし、同窓会会員の管理、同窓会報・総会案内などの金星会からの送付物及び同窓会名簿の発行を含む同窓会の運営に役立てる目的のみに使用します。
 - ・金星会では、ご本人の同意を得た以外は、会員以外の第三者に個人情報の提供を行いません。
 - ・個人情報への不正アクセス、または個人情報の紛失、破壊、改ざん及び漏洩等、個人情報に関するリスクに対しては、予防ならびに是正するための合理的な安全対策を講じます。
- 啓明学院金星会
詳細は、金星会のHPをご覧ください。

「住所変更通知」お願い

住所変更の方はいつでも迅速に、啓明学院内「金星会」宛に、ハガキか

TEL 078-741-1506

FAX 078-741-1512または

E-mail (kinseikai@keimei.ed.jp) にお知らせ下さい。

「〇回生又は〇年3月卒 氏名(旧姓) 〒住所・電話番号」

題字 中村俊文子氏(4回生)

No.14

発行

〒654-0131

神戸市須磨区横尾9丁目5番1号

TEL 078-741-1501(代)

FAX 078-741-1512

URL: <http://www.keimei.ed.jp>

E-mail: kinseikai@keimei.ed.jp

啓明学院内 金星会

編集後記

会報14号は啓明学院を今日まで導いてくださった先生方への感謝と学院の新しい息吹と躍動をお伝えしたいと願って発行いたしました。発行に当たり、原稿の執筆を快くお引き受けくださりご協力いただきました先生方始め、皆様に心より厚く感謝申し上げます。